

ドラゴンキャッスルシナリオ『踊る死体と錬金術師』

■シナリオタイプ…屋内探索

■難易度…1 レベルの数回冒険をこなした PC 用（2～4 人）

■補足…プレイヤー人数が 1 人だったり、冒険回数が 0 回のキャラクターが 2 人で厳しい場合はモンスターの出現数を減らしたり同伴する戦闘参加可能な NPC を出したりすること。

目的…オルクス村の外れにある廃屋の掃除を完了すること。

開始…ウィンデイル砦（PC 達が拠点として滞在している都市など）の宿屋に役人がやってくる。

概要…ウィンデイル砦にオルクス村より依頼が届きました。

村から少し外れた森の中にある廃屋の掃除をして欲しいという内容です。

報酬は一人当たり金貨 5 枚と宝石 1 個。ただの掃除と言うには破格です。

なぜ、そんな高額になったかと言うと…これまでも何度か依頼を出したものの、誰一人戻ることがなく、いつまでも片付かないからだといいます。

何か獣でも住み着いてしまったのか、あまりの悪臭とゴミの山に耐え切れず逃げ出してしまったのかは村人にはわかりません。

そのため、調査も兼ねて多めの金額で依頼を出すことに決めたようです。

登場キャラクター&モンスター

■ハンフリー：一般人 レベル 2

オルクス村の村長。年齢 53 歳の男性。今回の依頼主。

問題の廃屋についてなど、情報をくれる。

■その他村人達：一般人

オルクス村に住む住人達、聞き込みをしたりすると情報をくれる。

■アンブローズ：メイジ レベル 4

PC 達が掃除を依頼された廃屋の主だったという錬金術師。

何年も前に妻を亡くしてから姿を見なくなったというのだが…

情報

■ハンフリーから最初に教えられる内容

- ・廃屋の掃除は何度も依頼を出したが、今まで誰も戻ってくることがなく全く片付かない。
- ・廃屋からは酷い腐臭などがする。
- ・屋敷には 3 年ほど前まで錬金術師の夫婦が住んでいたが、奥さんが流行り病で亡くなってしまった。
- ・葬式をあげてしばらく後、旦那の錬金術師の姿も見かけなくなり、家は廃屋となってしまった。

■村人達からの情報

- ・錬金術師はそれほど村人達と交流はなかったが、時折便利な道具を作ってくれたり薬を作ってくれたりすることもあった。
- ・奥さんが亡くなった際はとても落ち込んでいた様子。
- ・廃屋からは酷い腐臭がするので、ならず者などは住んでいないだろう。
- ・これまで掃除を引き受けた連中は、現場を見て逃げ出したんだろう。

真相

妻の死を悲しんだ錬金術師アンブローズは禁断の術に関する研究に手を染めてしまいます。表向きは姿をくらし、家は廃屋となったように見えますが、未だに彼はそこで生活をしています。

秘密裏に作り上げた地下の実験室があったのです。

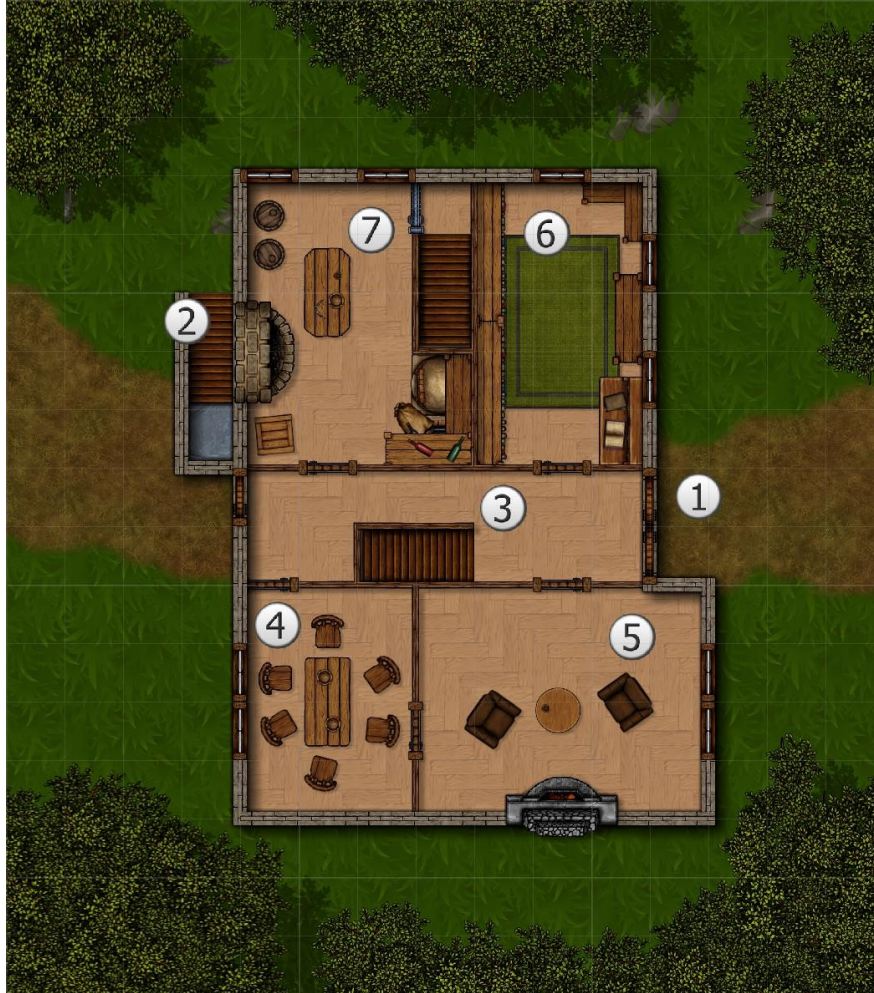
禁断の術とは死者を生き返らせるための術。

その為に、彼は動物の死体や人間の死体を集め、実験を繰り返すようになったのです。

その結果、生み出されてしまったのが様々なアンデッドモンスターでした。

PC 達は哀れな錬金術師を止めることができるのでしょうか。

マップ1（錬金術師の家1階）1マス=5フィート



1.玄関

両開きの木製の扉です。建付けが多少悪くなっているものの、しっかりと閉じられています。鍵はかけられていません。鍵もありません。また、周囲には動物の骨などが妙に散乱していることに気づきます。周囲を調べてみる場合、能力判定（盗賊系以外は1のみ成功）で人間サイズの足跡があることに気づきます。他にも人間の衣類や小物入れなどがあることに気づきます。小物入れの中には銀貨が1枚入っています。

足跡について探ってみる場合、能力判定（魔術師系以外は1のみ成功）でグールやスケルトンの足跡であることがわかります。

2.地下倉庫への階段

腐敗臭が強く、食い散らかされたような小動物の死骸がありますが、他に異変はありません。地下倉庫の扉で聞き耳を立てる場合、中から何かがガサゴソと走り回るような音がします。

3.廊下

左右に2つつ扉があり、奥には勝手口への扉が見える廊下です。ネズミがちょろちょろしている以外は変わったところはありません。中ほどには二階への階段があります。

階段の裏側にはゾンビが1体潜んでいます。PC達が警戒をせずに素通りしようとした場合、不意打ちされます。

ゾンビ

能 2/HP2/ダメージ 2

4.食堂

この部屋は特に肉の腐ったような臭いが強いです。それもそのはずで、奇妙なことにテーブルの上には皿が並べられ、その上には生肉が盛られているのです。その食い残しなどが腐り、強烈なおいを放っています。当然虫がわいていたりするものもあります。この部屋には見ての通り、エサが大量にあるので、恐るべき昆虫が住み着いてしまっています。PC達が部屋を調べていると、巨大なゴキブリが3体あらわれてPC達を食べようとしてきます。

ジャイアント・コックローチ

能 3/HP1/ダメージ 1

※調べてわかるものではありませんが、この中には人間の肉も混ざっており、それは仕事を頼まれて戻らなかった人たちのものも含まれていたりします。

5.居間

暖炉があり、一人用ソファが2つ置かれている居間です。

ソファはところどころ破れがあります。

中央にある丸テーブルの上には液体の入った瓶があります。

能力判定（誰でも）に成功すると、ワインだということがわかります。

この廃屋には相応しくないような感じで、最近持ち込まれたものであるように見えます。

暖炉を調べてみると隠しスイッチが見つかります。

それを押すと、石壁の一部がくるりとひっくり返し、小さな収納スペースに装飾のついた小箱が見つかり、その中には（罨は仕掛けられていません）【3】と刻印のなされた鍵が1本入っています。

6.書庫

埃っぽく、乱雑にガラクタなどが床に散らかっていますが、沢山の書物がおさめられた棚が壁一面にあります。

また、雑貨などがしまわれたチェストもいくつかあります。

チェストからは回復薬が手に入ります。

書棚を調べてみると、錬金術に関する本その他、死霊術の本も見つかります。

本を調べてみると、メモも見つかります。

メモには次のような内容が書かれています。

- ・骨を動かすまではうまくいった。だが、それでは意味がない。
- ・墓から掘り起こした死体を蘇らせることはできたが、根本的な問題がある。
- ・すぐに腐ってしまうことだ。何よりも、知能が低くどうしようもない。
- ・生肉を与えておけば腐敗の進行は遅らせることができるようだし、ある程度の知能も維持できるようだが、生前のようにはいかない。
- ・これではただの死肉喰らいではないか。
- ・バシバ村の墓ではこれ以上の成果は出ない。新しい方法を考えなくては…

7.キッチン

大量の肉片などが置かれたこの部屋はかつてキッチンだったようです。

部屋を調べると、調味料などが置かれた棚から1本のガラス瓶が見つかります。

そのガラス瓶の中には紫色の液体が入っています。

臭いをかぐと脳天まで突き抜けるような刺激臭がし、能力判定に失敗した場合、以後2回の行動の間、ダイス目に+1のペナルティがつきます。

また、一口でも飲んでしまった場合は、HPに1のダメージを受けます。

奥には頑丈な金属製の扉がありますが、特殊な仕掛けで施錠されています。

その先は、アンブローズが妻の死後、秘密裏に作り上げた地下室に繋がっています。

【扉の仕掛け】

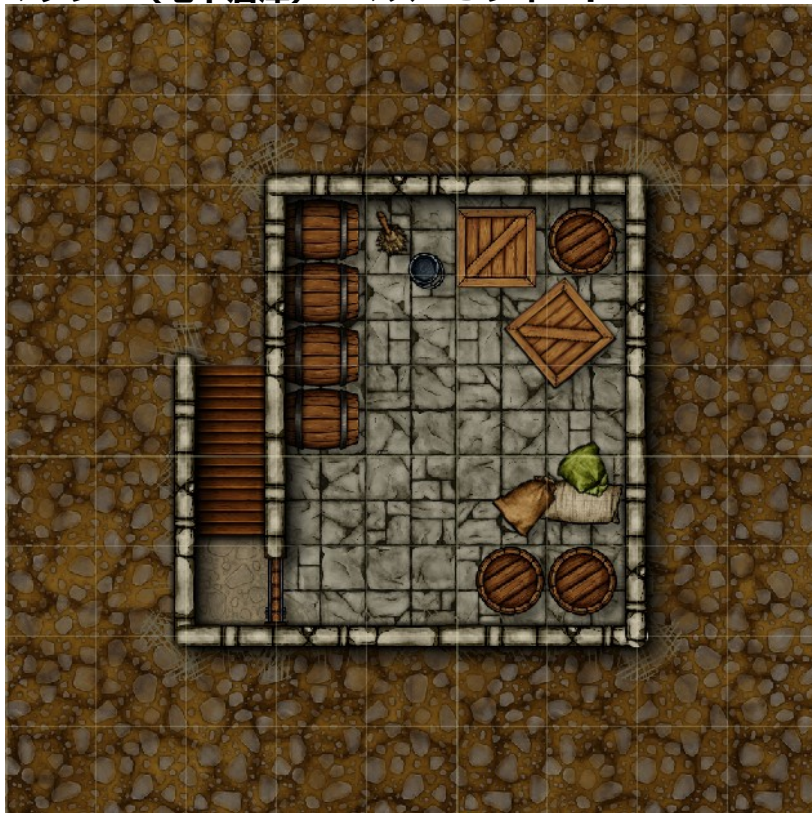
8	1	◆
◆	5	7
◆	9	2

扉に打ち付けられたプレートにはこのように刻まれており、ところどころに虫食いのような形で鍵穴が存在している。

いわゆる魔法陣であり、縦横斜めそれぞれ足してどれも15になるように対応する鍵を差し込めば扉が開く仕掛けとなっている。

※答えは上の段から6/3/4である。

マップ2（地下倉庫） 1マス=5フィート



もともとは食料を備蓄しておくための地下倉庫だったようだ。外で聞き耳を立てていた場合に聞こえたガサガサという何かが走り回るような音の正体は巨大なネズミです。（2匹います）

床には人間や動物の物と思しき骨や肉片が散らばっており、それらを齧っていたのです。

PC達が普通に入って来た場合は、すぐに気づき、襲いかかってくるため戦闘となりますが、慎重に入って来た場合、能力判定に成功すれば不意が打てます。

探索を諦めてすぐに扉を閉めて戻る場合は戦闘を回避できます。

ジャイアントラット

能 2/HP2/ダメージ 1

探索をして、盗賊系の能力判定に成功すれば（他のクラスの場合は1で成功）ここを先に訪れて被害にあった冒険者のものと思われる遺品が見つかります。

【発見されるアイテム】

- ・名のある武器
- ・銀貨2枚

マップ3（錬金術師の家2階） 1マス=5フィート



1.廊下

北側に大きめの扉が1つ、南側に普通の扉が2つ、そして中ほどに1階への階段がある廊下です。これと言って変わった様子はありません。調べてみた場合、北側の扉の前に人間の靴のような足跡があるのを見つけます。

2.寝室

部屋の中ほどに少々豪華なベッドがあり、他にはクローゼット、小さなテーブルがあります。ぱっと一瞥してPC達が把握できる様子として、ベッドは半壊していること、部屋の隅にはこの田舎屋敷には不似合いなフルプレートのアーマーが飾られていることです。

PC達が部屋に入ったのを認識すると奥に飾られたアーマーがガシャリガシャリと動き出し、PC達の方へ向かってきます。（動き出す時に兜のスリットから緑色の光が漏れ出します）

部屋に入った人数が2人以上の場合は兜のスリットから覗く緑色の光が赤に変わり、即座に腰に下げられた剣を抜き、襲いかかってきます。

また、部屋に入ったのが1人の場合もアーマーは動き出しますが、その際はしばらくPCを観察するようなそぶりを見せた後、兜のスリットから覗く光の色が赤に変わり、やはり襲いかかってきます。

リビングアーマー？

能3/HP5/ダメージ2

PCの人数が3人以上の場合は、1度だけ全体攻撃魔法を撃ちます。

アーマーを倒して中身を見ると、金属製の骨格が多数のチューブのようなもので覆われた作りになっており、その上に一般的な鎧をまとっていた形になっていることがわかります。また、チューブは兜の中に集束しており、兜の中には何かしらの培養液に満たされた透明なケースが入っていて、その中には脳が入れています。メイジ系クラスなどの能力判定で成功すると、それは人間の脳であることがわかります。また、兜を取り外した内側に「鉄製の小さな鍵」が隠されているのを見つけことができます。

PC達がこの哀れな錬金術の犠牲者の武具を手に入れたと言った場合は次のように処理してください。

剣は何の変哲もない普通の剣です。

防具に関しては使える部分と使えない部分があるので、能力判定（盗賊系）に成功した場合は「パーツメイル」として手に入れることが可能です。

この部屋にある半壊したベッドには多数の金属製のガラクタが散らかっており、ベッドの中央は雷に撃たれたように焦っています。

また、小さなテーブルには日記の切れ端のようなものが置いてあることに気づきます。

そこには次のような内容が記されています。

～日記の切れ端～

「無機物を体を使うのは良い案かもしれない。
この研究が完成するまでの間の繋ぎにはなるだろう。
幸い、新鮮な検体がいくつか手に入った。これでいろいろ試してみよう。
最愛のローズマリーを生き返らせるためならば、私は悪魔にでも鬼にでもなろう。」

～日記の切れ端ここまで～

クローゼットを調べると、ボロボロの衣服がある他、内部に鍵のかかった小さな棚が備え付けられています。
この箱の鍵は「鉄製の小さな鍵」で開けることができますが、ベッドにある金属のガラクタから針金などを手に入れて盗賊系の能力判定に成功することでも開けることができます。
中には【4】と刻印された鍵が入っています。

3.使用人の部屋 1

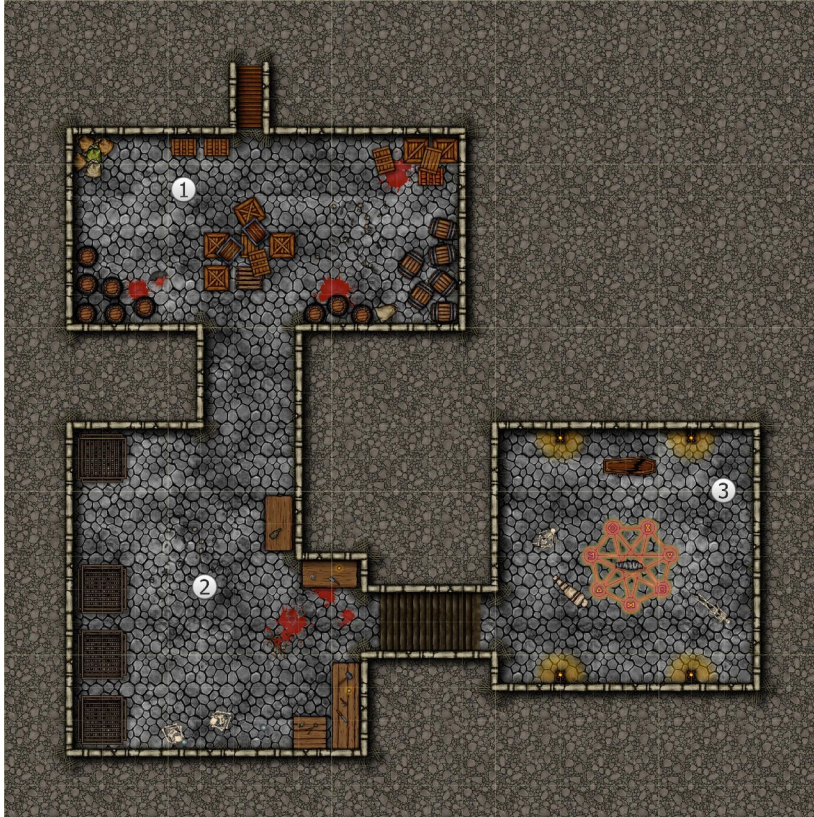
もともとは使用人のための部屋だったようですが、いったい何が行われたのか部屋には人骨や獣の骨、肉片が散らばっており、それぞれ食い散らかされたような跡があります。
また、床には人間のようなものが走り回った足跡が残っています。
メイジ系（知識系）の能力判定に成功すれば、それはグールの足跡だということがわかるでしょう。
他にはここで得られるものは何もありません。

4.使用人の部屋 2

こちらも使用人の部屋だったようです。
部屋 1 とは異なり、思ったよりは綺麗に整理されています。
寝台には既に白骨化した遺体が横たわっており、その手には【6】と刻印された鍵が握られています。
部屋にある小さなテーブルにはメモがあり、そこには次のようなメモが残されています。

- ・全ての道は同じ地へと辿り着く

マップ4（秘密の地下室） 1マス=5フィート



1.飼料置き場

仕掛け扉を開けて階段を下った先は飼料置き場になっています。
ところどころ壁にかけられたランプが灯っているのだからたいまつなどは持っていなくても視界は確保されています。
下るにつれて嫌な臭い（既に鼻がバカになっているでしょうが）が強くなり、耳を澄ますと何かの唸り声や咀嚼音が聞こえてきます。
飼料というのは人間や獣の死体で、それはグールに与えるものだったのです。グールはアンブローズの邪悪な実験の失敗作です。
ここには特に何もありませんが、死体を食っていたグール3体との戦闘になります。
プレイヤー人数が2名の場合はグールを2体に減らしてください。

グール

能 3/HP1/ダメージ 1

2.留置所兼施術室

この部屋には生き物の気配は既にあります。
いくつもの檻があり、壁には手枷が設置されています。
檻の中には白骨化してしまった犬などの死体が入っており、壁には手枷で拘束された人間の白骨やミイラ化した遺体が吊るされています。
これらは既に息絶えており、動き出しはしません。

部屋の中にある手術台ではおぞましい実験が今しがた行われたかのように夥しい量の鮮血が流れ、血だまりができています。
そして、何かを引きずったように血の跡が北側へと続いているのがわかります。

ここには薬品棚もあり、調べて能力判定に成功すると回復薬を1つ見つけることができます。

3.儀式の間

床に怪しげな魔法陣が描かれた儀式の間です。

その中央には2の部屋から持ってこられたと思われる遺体が設置され、その手前に跪いて一人の男が呪文を詠唱しています。

この男こそ家主のアンブローズです。

PC達には背を向けている状態なので、PC達が不意打ちを試みるそぶりを見せた場合、全員が能力判定に成功すれば不意打ちができます。

この男は既に気が狂っているので説得などには耳を傾けません。

PC達に気づくと（不意打ちされた場合は2ターン目）

「ああ、ローズマリー…また新しい材料がやってきたよ…これでまたお前に会える日が一日近づくよ…
待ってておくれ。

すぐにでも助けてあげるからね…」
と言い指をパチリと鳴らします。

すると部屋に横たわっていた白骨、腐乱死体、魔法陣の中央に置かれた死体が動き出し襲ってきます。

スケルトン、ゾンビ、ゲールを前衛に1体ずつ、狂乱の錬金術師アンブローズを後衛に配置して戦闘です。不意打ちをした場合は2ターン目敵全体が前衛エリアでそのターンを用いてアンブローズは後衛に下がります。

スケルトン

能 2/HP2/ダメージ 1

ゾンビ

能 2/HP2/ダメージ 1

ゲール強

能 3/HP2/ダメージ 2

アンブローズ

能 4/HP8/ダメージ 1（魔力によるもので後衛からも可能）

攻撃魔法を1回、全体攻撃魔法を2回、回復魔法を1回使うことが可能です。

戦局やPC人数に合わせて調整してください。

倒した後に死体を探った場合、宝石を1つ手に入れることができます。

また儀式の間の奥には棺桶があり、そこには「ローズマリー」と刻まれています。

中を開けてみた場合、そこには元はアンブローズの妻の遺体であっただろう灰が入っていることがわかります。

この真実をオルクス村の村長に報告すれば哀しさと驚きが入り混じった反応をされますが、PC達は大いに感謝され約束の報酬を受け取ることができ、見事依頼達成となります。

（現場が現場であったため、PC達にはかなりの異臭が染みついているので、風呂に入って一晩泊まっていことを勧められます。）

～踊る死体と錬金術師・終～

シナリオ原案：PI-TG001（ヒラヲカ）

当シナリオ構成：ハカセ

[ドラゴンキヤッスルであそびませう](#)

※当シナリオおよび、シナリオに含まれる素材の無断転載、再配布、販売等を禁止します。